



外国文献紹介

分離可能な先端部分をもつアポロ・マイクロカテーテルを用いた脳動静脈奇形および脳動静脈瘻の塞栓術について

Flores BC et al : Use of the Apollo detachable-tip microcatheter for endovascular embolization of arteriovenous malformations and arteriovenous fistulas. J Neurosurg 130 : 963-971, 2018

先端部分が分離可能なアポロ・マイクロカテーテルは2014年から米国で使用可能となったが、その安全性に関する報告は少ない。筆者らは、脳動静脈奇形（AVM）あるいは脳動静脈瘻（AVF）に対して実施した210回の血管内治療の成績や合併症などについて後ろ向き調査を行った。その結果、アポロ・マイクロカテーテルを用いた塞栓術が177回（61症例）実施されていた。61例中53例（86.9%）の予後は良好であり、アポロ・マイクロカテーテルの使用が原因と考えられる死亡事例は存在しなかった。また、アポロ・マイクロカテーテルを用いた場合は、AVMやAVFの塞栓術において、目的部位へのカテーテルの挿入に高率で成功しており、合併症の発生率は低かった。そして、アポロ・マイクロカテーテルは、AVMやAVFを治療するうえで有用かつ安全性に優れていると述べている。

瀬戸一彦